



◎ 図書館と私 (工学部教授 竹越 榮俊) …………… 1	◎ 案内 ○ インターネット情報検索サービスの紹介(Ⅲ) …………… 4 ○ 本学教官執筆図書案内…………… 6 ○ 2002年外国雑誌案内…………… 7 ○ 附属図書館利用案内…………… 9 ○ 平成14年度附属図書館開館・休館予定表……………11
◎ 諸報 ○ 附属図書館長に山地啓司教授(教育学部)が就任 「図書館と私、そしてこれから」…………… 3	◎ その他 ○ 図書館関係会議……………12 ○ 平成13年度附属図書館運営委員会委員名簿 (平成14年2月現在) ……………12
◎ ニュース ○ ヘルンの画像データを充実…………… 4 ○ 本館に「図書自動貸出装置」を設置…………… 4	

図書館と私

工学部教授 たけ こし えい しゅん
竹 越 榮 俊

私は太平洋戦争直前の1940年、富山県西部の人口3千人足らずの農村に生まれた。戦後まもなく村立の小さな小学校に入学したが、1学年1クラスで同級生は50人であった。そのころの生活は食べるのがやっとという状態で、ほとんどの工業製品は闇でしか手に入らなかった。学校ではたまにゴム靴や雨具等の日用品の配給があったが、抽選で10人に一人ぐらいしか当たらなかった。しかし、幸いにも教科書は全員新品を購入することができた。このような状況は年々良くなり、小学生高学年にはお金さえ出せば大抵のものは買えるようになった。

小学校には、僅かの蔵書であるが図書室のようなものがあり、先生と委員の生徒が管理していた

と思う。私の図書館利用はここが始まりである。みんな貧しいので、本を買ってもらえる人はほとんどおらず、児童向けの絵本や雑誌、単行本は図書室を利用した。学年が進むにつれて親の方にも生活に少しずつ余裕が生まれ、少しは本を買ってもらえるようになったが、ほとんど勉学用の参考書でその他の本や雑誌は相変わらず図書室を利用した。図書室通いは中学校卒業まで続き、伝記物や少年少女向けの小説をよく読んだ。

中学校卒業の頃、県内では市町村合併が盛んに行われ、私の村も合併により町に昇格した。高校に入学してからはもっぱら町立の図書館を利用するようになった。学校の図書室よりも蔵書の量、質ともかなり良かったからである。学校帰りの土

曜日の午後によく利用し、図書館の職員さんとはすっかり馴染みになり、いろいろな意味で便宜を図ってもらった。借りる本は大部分が小説で国内外の名作が中心であった。多感な年頃であったので、一度読み出すと夜も眠れず一睡もせずに読み終えたことも度々であった。私は論理的に物事を考えることが好きで、特に推理小説は片っ端から読んだ。江戸川乱歩、コナン・ドイル、モーリス・ルブラン等の小説はほとんど読んだ。

高校卒業後、自宅から通学できる近くの大学に入学したが、図書館は大学と町立図書館の両方を利用した。大学ではもっぱら専門の勉強のための参考書を利用し、町立図書館では一般書を借りた。しかし、学年が進むとともに勉強や友人つき合いが忙しくなり、町立図書館への足はどんどん遠のいた。大学卒業後、しばらく会社勤めをし、本学工学部に勤務したのは1965年であった。

その頃の工学部は高岡市にあり大学図書館の分館があったが、蔵書の大部分が専門書と学術雑誌ばかりで小説や趣味の本はほとんどなかった。したがって、借りる本と言えはおおかた国内外の学術雑誌で、それを研究室で読んで概略をノートに記録した。その頃、まだ現在のようなコピー機がなかったので、どうしても必要な文献はフィルムに撮って薄手の印画紙に焼き付けるか、光学機器で直接印画紙に焼き付けた。いずれにしても現像処理をするので、労力とコストがかかった。1970年頃に工学部にもようやくコピー機が入り、それ以後は苦勞しなかった。専門の学術書は恩師の理

解があったので、大抵の図書は公費で買っていただくことができ、負担が少なかったことに感謝している。

社会人になってからは何かと忙しく、雑誌や小説、一般書はあまり読まなくなった。どうしても読みたい本があれば、自分で購入することになっている。何と言っても新本は感触、インクの香り、見た目が新鮮で気持の良いものである。したがって、今のところ一般書を借りて図書館を利用することはほとんどない。ただ、定年後、趣味等で何かを深く追求しようとするとき、出費を抑えるため図書館を利用するであろう。

近年、インターネットが急速に普及し、必要な情報はほとんど手に入るようになった。例えば、何処かの山（それほど有名でなくても良い）に登りたいと思ったとき、山の名前を入れて検索すれば、何十、何百という情報が一度に手に入る。山の概要、地図、行く方法、状況、写真等が一目瞭然である。必要なものだけを印刷すればガイドブックや本を買う必要はない。情報化は図書館においても例外でなく、図書の情報検索サービスや学術雑誌のインターネット配信、辞書などのCD-ROM化等がどんどん進んでいる。近い将来、ブックレスの時代が来て、コンピュータだけが並んでいて本のない図書館が出来るかも知れない。私は頭が古いのでそういう図書館をイメージしたくないが、少しでも努力して現実に対応しなければならないと思っている。



《附属図書館長に山地啓司教授（教育学部）が就任》

平成10年2月20日から平成14年2月19日まで、2期4年間の長きにわたり附属図書館長を務められた小谷仲男教授（人文学部）が任期満了を迎えられ、後任に山地啓司教授（教育学部）が就任されました。

（任期：平成14年2月20日から2年間）



図書館と私、そしてこれから

附属図書館長 山地 啓 司

「情報を制する者は世界を制する」というように、私の研究分野（運動生理学）でも、世界からの情報（動向）をいかにより速く、より正確に、より多く捉え得るかが重要になる。そのため私の附属図書館利用法は足繁く図書館を訪れ、新刊学術雑誌に目を通すことが基本である。ただ、私が訪れる図書館は私の専門分野の関係上、富山大学よりもむしろ医薬大が中心である。特に医薬大の図書館は創設当時からお世話になってきたので、どんな雑誌がどこにあるか、地下の書庫の中まで判っているので便利である。

海外へ出張した時には、暇があれば近くの大学図書館（医系）へ出かけ、論文を漁る。そこで探す論文は、主にその国のナショナルな学術雑誌である。時には、日本ではとてもお目にかかれぬ論文を見つけ、心の中で小躍りして喜ぶこともある。このようにして集められた論文は、今私の研究室や実験室の10数個のキャビネットの中に分類・整理され保管されている。それが私の知の宝庫であり、創造のエネルギーの源泉となっている。

現在の図書館の業務は購入された書籍・雑誌の分類・整理・閲覧だけでなく、情報の集積・検索・発信・受信等世界への窓口としての重責を担っている。大学図書館のコンピュータ化によって、私の論文探しも随分様変わりした。今やメドライン等を使ってどこからでも文献検索ができる。必要

があれば、図書館に頼めば世界から論文を取り寄せることができる。便利になったものである。それだけ図書館側は大変である。

私は常々「図書館とはサービス業である」と思っている。その時の対象とは大学の教職員、学生は勿論、地域の人々から今や世界の人々となっている。ユーザーとしての私自身を顧みて、ユーザーの図書館に対する特徴的傾向は、第一に、ユーザーのニーズには限りがなく、いつも多様であること、第二に、ユーザーは限りなく合理性を求めていること、である。すなわち、ユーザーはサービス提供者（図書館側）により便利で、より高度な、より多くのサービスをいつも求めている。さらに厄介なことにそのニーズはヒトによって異なる。しかし、大学の図書館には職員の数や能力あるいは予算に限界がある。よって、自ずから“図書館のサービスには限界がある”。このユーザーの無限の欲求とサービスの限界の間に一線を描さなければならぬ。かくして私に与えられた仕事は、この境界線をよりユーザー側の領域が拡大するように移動させることではなかろうか。

最後にマタイ伝7・7を引用させていただく。「求めて、さらば与えられん。尋ねよ、さらば見出されん。門をたたけ、さらば開かれん。すべて求める者は得、探す者は見出し、門をたたく者はあけてもらえる。」

ニュース

ヘルンの画像データを充実

平成10年度から、ヘルン文庫に収蔵されている貴重資料及びヘルン直筆の原稿をデジタル化し、図書館ホームページで公開していますが、平成14年度からは画像データを充実させるとともに、アクセス方法もリニューアルしましたので利用しやすくなります。

また、平成11年度から三大学（富山大学、島根大学、熊本大学）で始めた「ラフカディオ・ハーン総合コレクションデータベース」作成プロジェクト

によるデータベース作成事業が平成13年度に終了し、本学で担当したヘルンの怪談の元になった和装本の画像データ約5,000件が公開できるようになりました。

島根大学担当の八雲研究の文献目録データベース、熊本大学担当の、ハーンの著作で著作権の切れた主要な12点13冊の全文データベースを総合して検索することにより、今後ラフカディオ・ハーンの研究が飛躍的に推進されることが期待されます。

本館に『図書自動貸出装置』を設置

平成14年4月から、本館で「図書自動貸出装置」が利用できるようになります。本体へ磁気カード（学生は学生証）を入れ、タッチパネルの案内に従い操作することで手軽に図書を借りることができます。貸出し冊数、貸出期間等もレシートに表

示されるので本の管理にもたいへん便利です。

なお、返却は今までどおりカウンターまたは返却ボックスで取り扱います。詳細は、1階カウンターへお問い合わせください。

（図書館ホームページでも公開する予定です。）

案内

インターネット情報検索サービスの紹介(Ⅲ)

はじめに

富山大学附属図書館では、本館南1階のマルチメディアコーナーをはじめ、OPACコーナー（本館の各階及び工学専門図書室）、それ以外に館内では、利用者の携帯パソコンを使ってDHCP（本館各階閲覧室及び工学専門図書室）や無線LAN（本館閲覧室）に接続し、インターネット上の図書関連情報を検索することができます。このインターネットとは、プロトコルという共通のルールに基づいて接続されたコンピュータネットワークの総称です。現在では世界中に広がり、地球規模のネットワークとなっています。そこでは、Eメールやホームページなどにより世界中の様々な人々が、インターネットを介して情報交換を行ったり、インターネット上に蓄積された情報を利用しています。

代表的なインターネット

今回は、雑誌に関する情報をインターネットで検索することを紹介します。

日本の雑誌について包括的な情報をサービスしているサイトはありません。さしあたっては、CD-ROM版「雑誌記事索引」を利用してください。

外国雑誌については、かなりの情報をインターネットで調べることができます。分野によっては1960年代からの文献情報も得られます。

1) NACSIS Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>)

国立情報学研究所（NII）の総合データベースです。600を超える大学図書館の和洋合わせて21万点を収録しており、雑誌の所蔵情報の検索に最も役に立ちます。

2) 雑誌記事索引採録誌一覧 (http://www.ndl.go.jp/library/magazine_indexs.html)

国立国会図書館の1984年1月受け入れ分以降「雑誌記事索引」に採録されている雑誌の一覧です。(現在約9,200誌)。1ヶ月毎に更新されます。

3) PubList.com (<http://www.publist.com/>)

世界の150,000誌のデータベースが検索できます。

4) 日本国内の雑誌目次情報一覧 (<http://www.lib.nagasaki-u.ac.jp/journals/journal-j.html>)

日本国内の140余りの学術雑誌へのリンク集です。(長崎大学附属図書館作成)

5) 臨床医学和雑誌特集記事データベース

(<http://www.sunmedia.co.jp/e-port/tokushu/>)

臨床系国内医学雑誌専門の特集記事データベースです。毎月500誌の特集に含まれる、約2,000以上の論文が登録されています。データの入れ替えは通常毎月5日に行われ、インターネット上では最新の1ヶ月分の検索が可能です。検索項目は特集名、論文名、雑誌名です。雑誌名は該当月の検索データに含まれる雑誌を、メニューから選択できるようになっています。

6) Ingenta (<http://www.ingenta.com/>)

IngentaはUncoverと合併後、旧Uncoverの文献情報とIngentaのオンラインジャーナルを無料で検索して抄録まで表示できるサービス、UnCoverPlusをインターネットで公開しています。

旧Uncoverは、CARL (Colorado Alliance of Research Libraries: 米国コロラド州の大規模図書館が参加する協会) が提供する学術雑誌の目次速報データベースと原報提供サービスを合わせたシステムで、Uncover社のサービスによりインターネットを介して無料で利用することができます。(原報提供は有料。)コロラド州の図書館を中心とした2館以上の参加図書館で購入している雑誌約1万8千タイトルから文献情報を収録しており、多方面の分野をカバーしています。レコード数は880万件以上で、毎日4千件以上のレコードが追加されます。収録範囲は主に1988年秋以降なので最近の文献しか検索できませんが、データ量の面では非常に充実していると言えます。また、

収録分野は科学技術および医学が5割強、社会科学系が4割、人文系が1割弱とされています。

7) Search ERIC Database(<http://ericir.syr.edu/Eric/>)

1966年から2002年1月までのアメリカ合衆国の教育関係の文献を調べることができます。

8) PubMed (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/PubMed>)

米国国立医学図書館 (National Library of Medicine: NLM) の国立バイオテクノロジーインフォメーションセンター (NCBI) が1997年6月から開始した生命科学・医学分野の代表的文献データベース「Medline」のWWW版です。1966年以降の約一千万件のデータベースを調べることができます。日本語のマニュアルが必要な場合は、サンメディア社・伊藤勝氏作成のマニュアル「PubMed入門」(http://www.sunmedia.co.jp/PM_man/pmcontents.html) を参照してください。

ネットワーク対応 CD-ROM の紹介

図書館には、雑誌の情報を検索するのに、ネットワークを介することによって学内のいろいろな場所からパソコンによって利用できるCD-ROMがあります。これは、学外からの利用はできませんので注意してください。

【ネットワーク対応のCD-ROM】

「雑誌記事索引」 (1975-)	国内の論文、研究報告、資料等の記事が検索できます。
「CD-ASAX 50yrs.」 (1945-1995)	戦後50年の朝日新聞見出しデータベース (本文なし)。
「Social Science Index」 (1983.2-)	社会科学関係の英文学術雑誌350誌を索引化したデータベース。
「科学技術文献速報 ライフサイエンス編」 (1997-)	世界50数カ国から収集した逐次刊行物、会議資料、レポート、公共資料等に掲載された文献を日本語抄録付きで紹介しています。
「科学技術文献速報 物理・応用物理編」 (1997-)	同上

おわりに

インターネット等から様々な情報を得ることができます。インターネットの活用術を身につけるには、実践面で楽しみながら利用することが大事です。できるだけ図書館に足を運び実際にパソコンに触れて、何度も検索の体験をしてください。

なお、インターネットを使う上で、他の人の迷惑にならぬよう注意しなければならないことが多数あります。お互いに心しておきたいこととして、図書館ホームページの URL : <http://www.toyama-u.ac.jp/tya/netiquej.html> および「インターネット利用ガイド（富山大学附属図書館情報基盤専門委員会作成）」を参照してください。

本学附属図書館の OPAC を携帯電話で利用される方は、下記の URL にアクセスしてください。

- iモード : <http://www.lib.toyama-u.ac.jp/i/>
- J-SKYWEB : <http://www.lib.toyama-u.ac.jp/j/>
- Ezweb : <http://www.lib.toyama-u.ac.jp/ez/>
(※24時間アクセス可能・図書館利用案内や新着図書案内も見られます。)



情報サービス課学術情報係（内線6900）

本学教官執筆図書案内

附属図書館では、本学教官が執筆した図書を積極的に収集しています。それらの図書は本館2階の専用コーナーに配架され、学生の皆さん等によって、有効に利用されています。新たに本を出版される際には、是非、図書館に2部ご恵贈くださるようお願いいたします。

ご寄贈いただいた図書は、『書香』及び附属図書館ホームページで紹介します。今回は平成13年10月以降の受入分です。

■ 芸術

帝政ロシアの農奴劇場：貴族文化の光と影 / 矢沢英一（人文学部）著
新読書社 2001（772.38/Y2/Te）

■ 言語

日本語学のしくみ / 加藤重広（人文学部）著（シリーズ・日本語のしくみを探る；4）
研究社 2001（810.8/M18/Sh=4）



2002年度外国雑誌案内

【欧文】

〔新規〕

Russian Economic Trends
 Precision Engineering
 Post-Communist Economies
 Post-Soviet Geography and Economics
 International Organization
 World Politics
 Journal of Emotional and Behavioral Disorders
 Child and Family Behavior Therapy
 Journal of Housing Economics
 Real Estate Economics
 Environmental Law Report

〔中止〕

Acta physiologica Scandinavica
 American journal of orthopsychiatry
 American journal of sports medicine
 American psychologist
 Antitrust law & economics review
 Antitrust law journal
 Applied geography
 Applied linguistics
 Asian geographer
 Australian journal of public administration
 Behavioral and brain sciences
 Behavioral interventions
 Berkeley journal of employment and labor law
 Bioinformatics
 Bundessteuerblatt
 Business week
 C.I.M. Bulletin
 Canadian journal of botany
 Canadian journal of experimental psychology
 Carnegie Rochester conference series on public policy
 CaTTech
 Central banking
 Cognition
 Cognition and instruction
 Cognitive psychology
 Comparative literature studies

Comparative literature studies
 Computer graphics world
 Computers and education
 Cooperation and conflict
 Current contents
 Deutsches und europaisches familienrecht
 Die Zeit
 Discourse processes
 ELT journal
 ELT journal
 Entscheidungen zum Wirtschaftsrecht
 Erzmetall
 European competition law review
 Fuel processing technology
 Gender, place and culture
 Geomagnetism and aeronomy
 Goltdammer's Archiv fur Strafrecht
 Human relations
 Industrial law journal
 International labour review
 Iprax
 IRS employment review
 Journal du droit internationa
 Journal of accounting & economics
 Journal of accounting literature
 Journal of biological chemistry
 Journal of consulting and clinical psychology
 Journal of experimental child psychology
 Journal of experimental psychology
 Journal of financial and quantitative analysis
 Journal of international arbitration
 Journal of personality and social psychology
 Journal of post keynesian economics
 Journal of Russian and East European psychology
 Journal of the history of ideas
 Journal of zoological systematics and evolutionary research
 Juristische Arbeitsbletter
 Juristische Ausbildung
 Labor law journal
 Labour market trends
 Law and contemporary problems

Light metal age
 Lithos
 Materials science & technology
 Merrill - Palmer quarterly
 Modern English teacher
 Modern language journal
 Monatsschrift fur Kriminologie und
 Strafrechtsreform
 Monthly labor review
 Nature structural biology
 Numerical methods for partial differential
 equations
 OR Spektrum
 Oxford art journal
 Psychology of women quarterly
 Pure and applied geophysics
 Revue critique de droit international priv
 Revue de litterature comparee
 Revue de litterature comparee
 Revue de science criminelle et de droit penal
 compare
 Revue politique et parlementaire
 Supreme Court review
 Teaching and teacher education
 The antitrust bulletin
 The British journal of aesthetics
 The Journal of business
 The Quarterly journal of experimental
 psychology
 Theory and society
 Theory, culture & society
 Topics in catalysis
 Urban studies

Yearbook of comparative and general
literature

【中国語】

〔新規〕

経済研究
 管理世界
 新文学史料
 学術集林
 中国統計月報
 中国海関統計月報
 遼寧日報
 国際商報
 吉林日報
 黒龍江日報

〔中止 (停刊)〕

女性人
 世界華文文学

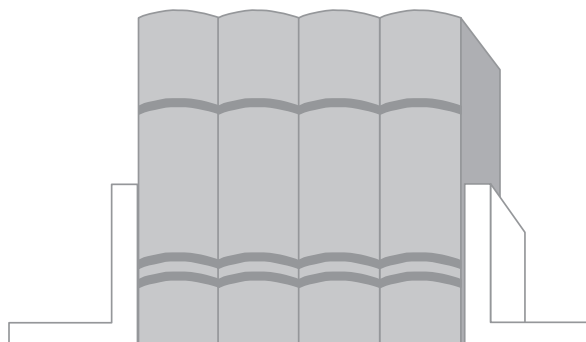
【ロシア語】

〔新規〕

Российская газета

〔中止〕

Аргументы и факты
 Интерфакс—Время
 Бюллетень Министерства труда и
 социального
 Развития РФ



～新入生の皆さんへ～

附属図書館利用案内

附属図書館は、本館（メインストリートの突き当たり）と工学専門図書室（工学部キャンパスの管理棟1階）に分かれ、約93万冊の図書、約16,000タイトルの雑誌等を所蔵しており、様々なサービスを通じて教職員及び学生の教育・研究を支援しています。

以下の説明をよく読み、大いに利用してください。図書館のことでわからないことがあれば、遠慮なく係員にお尋ねください。

1. 開館時間

平日（学期中） 午前9時～午後10時

（ただし、夏休み、冬休み及び春休みの期間中は、ともに午前9時～午後5時です。）

土・日曜日（学期中）午前10時～午後5時

2. 休館日

- ・休業中の土・日曜日
 - ・国民の祝日及び振替休日
 - ・本学創立記念日（5月31日）
 - ・年末年始（12月28日～1月4日）
 - ・その他、館長が特に必要と認めた日。
- 詳細は、開館・休館予定表をご覧ください。

3. 図書の貸出と返却

貸出を希望する場合は、カウンター上の自動貸出装置に学生証と図書のバーコードを読み込ませ、セルフで手続きをしてください。不明な点は貸出カウンターにお聞きください。貸出冊数及び貸出期間は、次のとおりです。

・学部学生	5冊以内	2週間以内
・大学院生	10冊以内	1ヶ月以内
・研究生、聴講生等は、学部学生と同じ		

（ただし、雑誌・参考図書・視聴覚資料は、貸出できません。）

なお、貸出手続きを受けずに図書を持ち出そうとすると、警報ブザーが鳴りますので注意してください。

夏休み、冬休み、そして春休み期間中は図書の長期貸出サービスを利用できません。

貸出を受けた図書は、返却カウンターに返してください。閉館時は、玄関左側の返却ポストに入れてください。また、返却期限に遅れると遅れた日数分だけ貸出停止になりますので、遅れないように注意してください。貸出期限内であれば、1回更新できます（ただし、長期貸出や予約者がいる場合は不可）。

4. 資料の探し方

図書館の資料は主にコンピュータでOPAC検索します。（OPAC：オーパックと読みます）

OPACで検索できる範囲は、昭和60年度（1985）以降に受入れた図書、それ以前の受入本でもさかのぼってコンピュータに登録した図書です。雑誌は全タイトル可能です。

OPACの使い方マニュアルは、利用者検索用コンピュータ横に備え付けてあります。

昭和59年度（1984）以前の受入本については、コンピュータに遡及入力中のももあるので、カード式目録でも調べてください。

5. 資料の配列

利用者検索（OPAC）用コンピュータあるいはカード目録を使って求める図書の情報が見つかったら、その請求記号を確認してください。本を探す大切な手掛りです。貸出中でなければ、館内の配架場所ごとに請求記号順に本が並んでいます。請求記号は下の例のような数字・英字の組合せで、図書の背にラベルが貼ってあります。

1段目の数字は、学問分野をコード化した分類番号を採用しているため、同じ番号あるいは近似の番号のところには、同じような研究内容の本が集まっています。関連文献を一緒に見つけるのに便利です。

（例）夏目漱石『吾輩は猫である』（漱石全集）
岩波書店

918.68

N21

Iw=1

ただし、コンピュータ画面上は横一列になって、918.68||N21||Iw=1と表示されます。区切記号 (||) ごとに1段落と見なしてください。

貸出中のものを利用したいときは、返却期限日から判断して、(a) 近日中に返却されそうな場合は予約をかけます。(b) 教官や研究室に長期貸出されているものは、一時借用のための専用の申込書が貸出カウンターにありますので、記入してください。

雑誌については、請求番号は特にありません。基本的に、雑誌名順に配列されているからです。外国雑誌(発行地が外国)はABC順、国内雑誌(発行地が国内)は五十音順です。

ちなみに、図書館資料は書棚の左から右へ、書架の上の棚から下の棚へと並んでいます。1列の端まできたら裏側に続きます。

6. 館内の配架場所

[所在表示]	[配置場所]	[資料区分]
本館1階	本館1階	参考図書、学生用図書
雑誌情報室	本館南2階	雑誌(理工系)
雑誌情報室	本館南3階	雑誌(人文・社会系)
本館南4,5,6階	本館南4～6階	研究用図書
工学図 書庫	工学専門図書室 本館北書庫1～4階	工学系の図書・雑誌 昭和59年度以前受入図書

書庫内に配架されている昭和59年度(1984)以前の受入図書は遡及入力作業が完了していませんので、OPAC検索で見つからない場合は、前述のカード式目録を利用してください。

雑誌のうち、大学・研究機関等の紀要・報告類は、本館北書庫3～4階に配架されています。雑誌資料室(本館南2～3階)の電動式集密書架で見つからない雑誌は、こちらを探してください。

書庫へ入るときは、学生証を提出してください(バッグ類は持込み禁止です)。書庫の利用時間は平日9:00～17:00です。

7. 参考調査・文献複写

本学図書館にない資料でも他大学等の所蔵を調べて、コピーや現物を取り寄せることができます(実費有料)。

また、館内にプリペイドカードが使える複写機を設置していますが、図書館資料を複写する場合

は、著作権法に基づく所定の手続が必要です。備え付けの文献複写申込書に記入の上、カウンターに申し込んでください。

その他、図書館の利用方法や資料のことでわからないことがあれば、カウンターで気軽にご相談ください。

8. その他のサービス

(1) インターネット、CD-ROM

本館南1階のマルチメディア・コーナーに情報検索用のコンピュータが設置してあり、インターネットやCD-ROMの検索ができます。また、IP接続が可能な携帯パソコンを持ち込んでインターネットを利用する場合は、本館南各階の閲覧室北側に用意してある情報コンセント(DHCP接続対応)が便利です。

(2) i-Book サービス

携帯電話でOPACの検索や、図書の新着案内を見ることができます。

iモード <http://www.lib.toyama-u.ac.jp/i/J-SKYWEB>
<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/j/Ezweb> <http://www.lib.toyama-u.ac.jp/ez/>

(3) ビデオ

語学学習等のビデオが用意してあります。貸出カウンターで申し込めば、本館北2階自由閲覧室内のビデオ・ブースで利用できます。

(4) 購入希望図書

教育・研究に不可欠な資料で、本学には所蔵していないものについては、所定の申込書に必要事項を書いて、リクエストすることができます。

(5) 富山医科薬科大学との相互利用

富山医科薬科大学附属図書館で図書の貸出を受けることができます。図書の貸出を受けるには、予め利用証の交付を受ける必要がありますので、学生証持参のうえ、富山医科薬科大学附属図書館の窓口で交付の手続きを行ってください。貸出冊数は、4冊まで、期間は2週間です。

(6) 館内施設の利用

グループ閲覧室などの館内施設を利用する場合は、カウンターで所定の申込書に必要事項を記入してから利用してください。

平成14年度 附属図書館開館・休館予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	月	△	1	水		1	土	休館 大学祭	1	木	△
2	火	△	2	木		2	日	休館 大学祭	2	金	△
3	水	△	3	金	休館 憲法記念日	3	月		3	土	休館
4	木	△	4	土	休館 国民の休日	4	火		4	日	休館
5	金	△	5	日	休館 こどもの日	5	水		5	月	△
6	土	休館	6	月	休館 振替休日	6	木		6	火	△
7	日	休館	7	火		7	金		7	水	△
8	月	△	8	水		8	土		8	木	△
9	火	△	9	木		9	日		9	金	△
10	水	△	10	金		10	月		10	土	休館
11	木		11	土		11	火		11	日	休館
12	金		12	日		12	水		12	月	△
13	土		13	月		13	木		13	火	△
14	日		14	火		14	金		14	水	△
15	月		15	水		15	土		15	木	△
16	火		16	木		16	日		16	金	△
17	水		17	金		17	月		17	土	休館
18	木		18	土		18	火		18	日	休館
19	金		19	日		19	水		19	月	△
20	土		20	月		20	木	休館 海の日	20	火	△
21	日		21	火		21	金		21	水	△
22	月		22	水		22	土		22	木	△
23	火		23	木		23	日		23	金	△
24	水		24	金		24	月		24	土	休館
25	木		25	土		25	火		25	日	休館
26	金		26	日		26	水		26	月	△
27	土		27	月		27	木		27	火	△
28	日		28	火		28	金		28	水	△
29	月	休館 みどりの日	29	水	△	29	土		29	木	△
30	火		30	木	休館 臨時休業日	30	日		30	金	△
31	水		31	金	休館 創立記念日	31	月		31	土	休館

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	火		1	金		1	日		1	土	休館
2	水		2	土		2	月		2	日	休館
3	木		3	日	休館 文化の日	3	火		3	月	△
4	金		4	月	休館 振替休日	4	水		4	火	△
5	土	休館 作業停電	5	火		5	木		5	水	△
6	日		6	水		6	金		6	木	△
7	月		7	木		7	土		7	金	△
8	火		8	金		8	日		8	土	休館
9	水		9	土		9	月		9	日	休館
10	木		10	日		10	火		10	月	△
11	金		11	月		11	水		11	火	休館 建国記念の日
12	土		12	火		12	木		12	水	休館 後期試験予定
13	日		13	水		13	金		13	木	△
14	月	休館 体育の日	14	木		14	土		14	金	△
15	火		15	金		15	日		15	土	休館
16	水		16	土		16	月		16	日	休館
17	木		17	日		17	火		17	月	△
18	金		18	月		18	水	休館 センター試験	18	火	△
19	土		19	火		19	木	休館 センター試験	19	水	△
20	日		20	水		20	金		20	木	△
21	月		21	木		21	土		21	金	休館 春分の日
22	火		22	金		22	日		22	土	休館
23	水		23	土	休館 勤労感謝の日	23	月	休館 天皇誕生日	23	日	休館
24	木		24	日		24	火	△	24	月	△
25	金		25	月		25	水	△	25	火	休館 前期試験予定
26	土		26	火		26	木	△	26	水	△
27	日		27	水		27	金	△	27	木	△
28	月		28	木		28	土	休館 書架整理	28	日	△
29	火		29	金		29	月	休館	29	水	休館
30	水		30	土		30	火	休館	30	木	休館
31	木		31	日		31	水	休館	31	金	△

- 通常開館 9:00~22:00
- 短縮開館 9:00~17:00 (工学専門図書室 1/17, 2/24, 3/11 は 9:00~12:00 予定)
- 休日開館 10:00~17:00
- 休館

国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
 休業期間中の土・日曜日
 創立記念日 (5月31日)
 大学祭 (5月30日-6月2日)
 作業停電日 (10月5日)
 館内図書整理日 (12月27日)
 年末年始 (12月28日-1月4日)
 大学入試センター試験実施日 (1月18・19日)
 入学者選抜学力検査前期・後期日程実施日 (2月25日, 3月12日 予定)

その他

図書館関係会議

(平成13年9月～14年3月)

◎ 学内関係

- ・第3回附属図書館運営委員会
期日 平成13年10月18日
場所 附属図書館会議室
- ・第2回富山大学年史編纂委員会
期日 平成13年12月7日
場所 附属図書館会議室
- ・第1回情報基盤専門委員会
期日 平成13年12月12日
場所 附属図書館会議室
- ・第4回附属図書館運営委員会
期日 平成13年12月13日
場所 附属図書館会議室
- ・第5回附属図書館運営委員会
期日 平成14年3月27日
場所 附属図書館会議室

◎ 学外関係

- ・国立大学図書館協議会理事会
期日 平成13年10月25日
場所 大阪大学
- ・北信越地区国立大学附属図書館事務(部・課)長会議
期日 平成13年11月29日～30日
場所 信州大学
- ・国立大学図書館協議会シンポジウム(西地区)
期日 平成13年11月28日～29日
場所 京都大学
- ・国立大学附属図書館事務部長会議
期日 平成14年1月17日
場所 ホテル・キャッスル(山形市)



平成13年度附属図書館運営委員会委員名簿

(平成14年2月20日現在)

館長	山地啓司	工学部	袋谷賢吉
人文学部	藤田秀樹	工学部	石原外美
人文学部	佐々木重洋	教養教育実施機構	松崎一平
教育学部	佐藤幸男	総合情報処理センター	山西潤一
教育学部	徳橋曜	事務部長	東高明
経済学部	小松和生	情報管理課長	星野茂登一
経済学部	若林丈靖	情報サービス課長	内山昭一郎
理学部	鈴木邦雄		
理学部	中村省吾		